

- 問1 明治から大正期にかけての日本の学術・文化の発展に関連して、人物とその活躍した分野の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|--------------|
| 1. 北里柴三郎 — 医学 | 2. 高村光太郎 — 音楽 | 3. 黒田清輝 — 文学 | 4. 樋口一葉 — 美術 |
|---------------|---------------|--------------|--------------|
- 問2 三国干渉において、ロシア、ドイツ、フランスが日本に対して遼東半島の返還を求めた主な理由として、当時の国際情勢から考えて最も適切な説明はどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|
| 1. 日本大陸進出を抑え、自国が中国における権益を拡大する妨げにならないようにするため | 2. 下関条約の内容が、それ以前に結ばれていた日露和親条約に違反していたため | 3. 日本が賠償金を取りすぎることで、清の経済が破綻することを防ぐため | 4. 日本とイギリスが同盟を結び、東アジアの軍事バランスが崩れることを恐れたため |
|---|--|-------------------------------------|--|
- 問3 明治時代に活躍した作家で、思春期の少年少女の心情を描いた『たけくらべ』や『にごりえ』などの小説を残し、現在は五千円札の肖像として採用されている人物を選びなさい。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|-----------|
| 1. 与謝野晶子 | 2. 樋口一葉 | 3. 紫式部 | 4. 平塚らいてう |
|----------|---------|--------|-----------|
- 問4 1872年から1993年までの産業の歴史を記した年表において、1872年の出来事として「政府が群馬県に富岡製糸場を設立した」という記述があります。この施設が当時の日本において果たした役割として、最も適切な説明を選びなさい。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. フランスの技術を導入した官営模範工場として、全国に近代的な製糸技術を広める役割 | 2. 廃藩置県によって職を失った士族たちに、軍用武器の製造技術を習得させる役割 | 3. 士族の反乱を鎮圧するための軍資金を、生糸の輸出によって調達する役割 | 4. 日清戦争の賠償金を利用して建設され、日本の重化学工業を牽引する役割 |
|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 1872年に明治政府が公布した、国民全員が教育を受けることを目指した日本最初の近代的な教育制度を何といいますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1. 教育勅語 | 2. 小学校令 | 3. 徴兵令 | 4. 学制 |
|---------|---------|--------|-------|
- 問6 明治時代の政治制度の確立に関する出来事について、時期が早いものから順に並べた記述として適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 五箇条の御誓文による方針提示 → 大日本帝国憲法の発布 → 普通選挙法の制定 | 2. 大日本帝国憲法の発布 → 五箇条の御誓文による方針提示 → 民選議院設立の建白書の提出 | 3. 民選議院設立の建白書の提出 → 五箇条の御誓文による方針提示 → 大日本帝国憲法の発布 | 4. 五箇条の御誓文による方針提示 → 民選議院設立の建白書の提出 → 大日本帝国憲法の発布 |
|---|--|--|--|
- 問7 1902年に日本がイギリスとの間で「日英同盟」を結んだ主な背景・理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 東学党の乱を鎮圧するために、イギリス軍を朝鮮半島へ派遣してもらったため。 | 2. 三国干渉による遼東半島の返還を阻止するために、イギリスに仲裁を依頼するため。 | 3. 江華島事件の解決において、イギリスの軍事的な支援を受ける必要があったため。 | 4. 日清戦争後の三国干渉を経て、満州や朝鮮半島への進出を強めるロシアに対抗するため。 |
|---|---|--|---|
- 問8 ポーツマス条約によって日本が獲得した「南満州鉄道」などの利権をめぐり、その後の日本の大陸政策がどのように変化したか、背景や目的を含めた説明として正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 獲得した鉄道や租借地を経営するため「南満州鉄道株式会社」などを設立し、大陸進出の拠点とした | 2. ロシアとの共同経営を行うことで、清との軍事的な衝突を回避する緩衝地帯として活用した | 3. 獲得した利権をすべて清に返還することで、アジア諸国との連携を深める「アジア主義」へ転換した | 4. アメリカの提案を拒否して鉄道の単独経営を強行したため、国際連盟から即座に脱退を勧告された |
|--|--|--|---|
- 問9 日本の産業革命において、軽工業である繊維産業が果たした役割や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. イギリスから輸入した綿織物をそのまま清（中国）へ転売する中継貿易の拠点となった。 | 2. 綿糸や綿織物の輸出を拡大させ、外貨を獲得することで日本の近代化を経済面で支えた。 | 3. 海外から輸入した鉄鋼を利用して鉄道網を整備し、綿花の国内自給率を100パーセントに高めた。 | 4. 生糸の輸出を完全に停止し、すべての繊維製品を軍用用の制服として国内消費に回した。 |
|---|---|--|---|
- 問10 明治時代から現代にかけて、日本人はさまざまな目的で海外へ渡りました。1871年に横浜を出発した岩倉使節団に同行した津田梅子などの留学生を含め、当時の使節団が担っていた役割として最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 西洋の進んだ政治や教育の仕組みを日本に持ち帰るため、各国を広く巡り、将来の国づくりに役立てる。 | 2. 観光目的の海外旅行を自由化するために、各国と入国審査の簡略化に向けた合意形成を直接行う。 | 3. 北米や中南米、東南アジアへの移住者を増やすため、現地の労働環境を調査し、移民の受け入れ態勢を整える。 | 4. 日本からの海外渡航者が1000万人を突破したことを受け、現地の日本人保護を目的とした領事館を新設する。 |
|--|---|---|--|
- 問11 1895年、日清戦争後の講和条約である下関条約において、日本が一度は領有を認められたものの、ロシア、ドイツ、フランスの3か国からの強い要求によって清へ返還することになった地域はどこですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|-------|
| 1. 澎湖諸島 | 2. 遼東半島 | 3. 南満州 | 4. 台湾 |
|---------|---------|--------|-------|
- 問12 明治時代、日本の重工業化を推進するために福岡県に建設された官営八幡製鉄所について、その建設資金の主な財源と、燃料の供給源の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 日清戦争の賠償金と、筑豊炭田の石炭 | 2. 地租改正による税収と、筑豊炭田の石炭 | 3. 外国からの借款と、夕張炭田の石炭 | 4. 日露戦争の賠償金と、常磐炭田の石炭 |
|----------------------|-----------------------|---------------------|----------------------|
- 問13 日露戦争後の講和条約の内容に対し、当時の日本国内で発生した民衆の不満とその影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 軍部の独断で条約が結ばれたことに反発し、都市部の労働者を中心に米騒動が全国へ広がった。 | 2. 条約で領土が全く増えなかったことに抗議して、大久保利通らの政府高官が暗殺される事件が相次いだ。 | 3. 賠償金が得られないことへの怒りから東京で日比谷焼打事件が発生し、戒厳令が敷かれる事態となった。 | 4. 関税自主権の回復が認められなかったため、商工業者が政府に対して大規模な増税反対運動を展開した。 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 北里柴三郎 — 医学	北里柴三郎は、ドイツ留学中に破傷風の治療法を開発し、帰国後にはペスト菌を発見するなど、日本の近代医学の発展に多大な貢献をした医学者です。そのため「近代日本医学の父」とも称されます。他の選択肢については、樋口一葉は「たけくらべ」などで知られる文学（小説家）、黒田清輝は「湖畔」などで知られる美術（洋画家）、高村光太郎は彫刻や詩（「道程」など）の分野で活躍した人物です。
問2	答え 1 日本の大陸進出を抑え、自国が中国における権益を拡大する妨げにならないようにするため	ロシアは不凍港（冬でも凍らない港）を求めて南下政策を進めており、満州や朝鮮半島への進出を狙っていました。日本が大陸の拠点である遼東半島を領有することは、ロシアの利益と直接衝突するものでした。同様に中国分割を狙っていたドイツやフランスも、日本の勢力拡大を警戒したため、この要求に加わりました。
問3	答え 2 樋口一葉	明治時代の近代文学において、生活の苦しさや女性の哀歓を優れた感性で描いた作家です。24歳という若さで亡くなりましたが、その文学的功績が高く評価され、2004年から五千円札の肖像に選ばれています。与謝野晶子は歌集『みだれ髪』で知られる歌人、平塚らいてうは女性解放運動家、紫式部は平安時代に『源氏物語』を執筆した作家であり、時代や活動分野が異なります。
問4	答え 1 フランスの技術を導入した官営模範工場として、全国に近代的な製糸技術を広める役割	富岡製糸場は、フランス人技師ブリュナの指導のもと、当時の世界最先端の技術を導入しました。全国から集まった工女たちがここで技術を習得し、地元の工場に戻って指導者となることで、日本全体の製糸業のレベルが底上げされました。なお、八幡製鉄所と混同されやすいですが、八幡製鉄所は日清戦争後の1901年に操業を開始した重工業施設です。
問5	答え 4 学制	明治政府は「国民皆学」のスローガンのもと、身分や性別に関係なくすべての国民が教育を受けるべきであるという方針を打ち出しました。これが1872年に公布された学制です。しかし、当初は授業料が自己負担であったことや、貴重な労働力である子どもを学校に取られることへの不満から、農民による反対一揆が起こることもありました。
問6	答え 4 五箇条の御誓文による方針提示 → 民選議院設立の建白書の提出 → 大日本帝国憲法の発布	明治政府はまず1868年に五箇条の御誓文で基本方針を示しました。その後、1874年の建白書提出によって自由民権運動が活発化し、政府はそれに応える形で国会開設を約束しました。最終的に1889年、君主権の強いドイツ（プロイセン）の憲法を参考に大日本帝国憲法が発布されました。普通選挙法の制定は1925年であり、大正時代の出来事であるため、明治の政治制度確立の初期段階とは区別する必要があります。
問7	答え 4 日清戦争後の三国干渉を経て、満州や朝鮮半島への進出を強めるロシアに対抗するため。	日清戦争後にロシア・ドイツ・フランスが行った三国干渉により、日本はロシアを将来的な最大の脅威と認識するようになりました。一方のイギリスも、中国大陆においてロシアが南下政策を進めることを警戒していました。このように、ロシアの拡大を抑えたいという両国の利害が一致したことが、1902年の日英同盟締結の決定的な要因となりました。この同盟により、日本はのちの日露戦争を外交的に有利な状況で迎えることができました。
問8	答え 1 獲得した鉄道や租借地を経営するため「南満州鉄道株式会社」などを設立し、大陸進出の拠点とした	日本はポーツマス条約で得た鉄道の利権を管理・経営するため、半官半民の「南満州鉄道株式会社（満鉄）」を設立しました。この会社は単なる鉄道事業だけでなく、沿線の開発や炭鉱運営、さらには調査機関としての役割も担い、日本の中国東北部（満州）への進出を支える重要な柱となりました。アメリカからは鉄道の共同経営提案（ハリマン案）がありましたが、日本側がこれを拒否したことは、のちの日米関係の悪化の一因となりましたが、国際連盟の脱退はさらに後の1930年代の出来事です。
問9	答え 2 綿糸や綿織物の輸出を拡大させ、外貨を獲得することで日本の近代化を経済面で支えた。	日本の産業革命は、製糸業（生糸）や紡績業（綿糸）などの軽工業から始まりました。特に機械化によって大量生産された綿糸や綿織物は、生糸と並ぶ日本の主要な輸出目となり、海外から外貨を稼ぐことで、その後の重工業化や国の近代化を進めるための重要な資金源となりました。
問10	答え 1 西洋の進んだ政治や教育の仕組みを日本に持ち帰るため、各国を広く巡り、将来の国づくりに役立てる。	岩倉使節団には多くの留学生も同行しており、欧米の文化や制度を直接吸収させ、帰国後の近代化を担う人材を育成する狙いがありました。使節団はアメリカやヨーロッパ諸国を1年以上にわたって歴訪し、その見聞は後の大日本帝国憲法の制定や教育制度の改革に反映されました。北米などへの海外移住が本格化したり、観光目的の渡航が自由化されたりするのは、この使節団の派遣よりも後の時代の出来事です。
問11	答え 2 遼東半島	下関条約で日本が遼東半島を獲得したことに対し、東アジアへの進出を狙っていたロシアが、ドイツとフランスを誘って日本に圧力をかけました。当時の日本にはこれに対抗する力がなく、やむなく返還に応じることとなりました。この出来事を三国干渉と呼びます。
問12	答え 1 日清戦争の賠償金と、筑豊炭田の石炭	日清戦争で清から得た多額の賠償金は、軍備拡張や重工業の育成に充てられました。八幡製鉄所はその一環として福岡県に設置され、近くの筑豊炭田から産出される石炭を主な燃料として利用しました。これにより、日本は鉄鋼の国内自給を目指しました。
問13	答え 3 賠償金が得られないことへの怒りから東京で日比谷焼打事件が発生し、戒厳令が敷かれる事態となった。	当時の新聞などが日本の勝利を強調して報じていたため、民衆は日清戦争時のような多額の賠償金や領土獲得を期待していました。しかし、実際には賠償金が得られなかったため、生活苦に耐えてきた民衆の不満が爆発し、講和反対国民大会をきっかけに日比谷焼打事件という暴動に発展しました。政府はこの騒動を鎮めるために戒厳令を出すことを余儀なくされ、民衆の政治意識が政府の外交政策に向けられる転換点となりました。